

# 福祉避難所編



## 1. 福祉避難所の開設準備

### （1）岐阜 DWAT 第〇班が福祉避難所責任者へ挨拶

#### 第〇班全員による避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）への到着報告及び挨拶

##### ■第〇班リーダー

- ・岐阜県からの要請で派遣された岐阜 DWAT です。私は、第〇班リーダーの〇〇と申します。
- ・介護福祉士〇名、社会福祉士〇名、精神保健福祉士〇名、看護師〇名の計5名で編成された多職種による福祉専門職のチームです。
- ・ここに避難してこられる方の中で、介護や見守りなどの配慮が必要な方に対して、応急的な環境整備・ケア等を行うほか、福祉避難所の開設も協力します。
- ・第〇班の活動期間は〇月〇日までですが、その後、第〇班に引継を行い、支援活動は継続します。
- ・福祉的支援が必要な方がいらっしゃる場合は、私たちに声をかけてください。

##### ■避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）

了解しました。よろしく申し上げます。

（2）福祉避難所の開設補助

避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）の指示を受けて、避難スペースの設置

※避難所運営チーム（受付担当、案内担当）は、受付設営及び要配慮者の受付・誘導を実施

■避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）

・これから、福祉避難所の開設準備を行います。岐阜 DWAT の皆さんは、避難スペースの設置をお願いします。（ホワイトボードに記載）

- ・〇〇さんは、全体調整
- ・〇〇さん、〇〇さんは、間仕切りの設置
- ・〇〇さん、〇〇さんは、上階からベッドを6台移動

■第〇班

・了解しました。

<第〇班の役割分担>

第〇班 隊員	役割
〇〇 〇〇（リーダー）	全体調整
〇〇 〇〇（介護福祉士） 〇〇 〇〇（介護福祉士）	間仕切りの設置
〇〇 〇〇（看護師） 〇〇 〇〇（精神保健福祉士）	上階からベッドを6台移動

（3）福祉避難所の開設補助終了

第〇班は、要配慮者の受入れまでの間、施設の非常口やトイレ、使用可能スペース等を確認する。

## 2. 要配慮者の受入れ

### 要配慮者の担当決め

**第〇班**の要配慮者別担当を決定

<**第〇班**リーダー：〇〇氏>

- ・要配慮者6組の方々が避難してみえます。
- ・まず、**第〇班**の隊員が6組の方全員から聞き取りを行い、その後、チーム全員でケア方針を協議します。
- ・聞き取りを行う要配慮者の担当は、次のとおりとします。
  - 〇〇さん：要配慮者A・D
  - 〇〇さん：要配慮者B・C
  - 〇〇さん：要配慮者E
  - 〇〇さん：要配慮者F
- ・聞き取りの項目は、「被災者アセスメント調査票」及び「要配慮者個票」に記載してください。
- ・聞き取りが終了したら、再度ここに集まってください。

<**第〇班**全員>

- ・了解しました。

<**第〇班**の担当>

<b>第〇班</b> 隊員		要配慮者
〇〇	〇〇 ※リーダー	—
〇〇	〇〇 (介護福祉士)	要配慮者A・D (高齢者)
〇〇	〇〇 (介護福祉士)	要配慮者B・C (高齢者)
〇〇	〇〇 (精神保健福祉士)	要配慮者E (障がい児)
〇〇	〇〇 (看護師)	要配慮者F (障がい者)

※要配慮者 A～F の情報

	状 態	年 齢 性 別	詳 細	要配慮事項
要配慮者 A	自力歩行可能・認知症 （要介護 3） ※自宅から避難所へ向かう途中、左足を捻挫したため、車イスを使用。	84 歳 男性	普段はデイサービスを利用しながら在宅生活を送っている。しきりに家に帰りたいと言っている。	持病のため、3 時間おきの服薬が必要だが、飲み忘れが多い。 今回は、14:20 服薬
要配慮者 B	自立歩行可能（要介護 2）	70 歳 男性	要配慮者 C と夫婦。普段はホームヘルパーが食事や入浴などの動作を介助している。 高齢者のみ世帯。	糖尿病のため、インスリンの注射が必要。食事制限あり。
要配慮者 C	自立歩行可能（要介護 2）	67 歳 女性	要配慮者 B と夫婦。普段はホームヘルパーが食事や入浴などの動作を介助している。 高齢者のみ世帯。	難聴
要配慮者 D	自立歩行可能（要介護 2）	90 歳 女性	普段はデイサービスを利用しながら在宅生活を送っている。	足腰が弱いため、歩行器が必要
要配慮者 E	発達障がい	12 歳 男性	慣れない環境で、本人は落ち着かない様子。父親は「パニックを起し、まわりに迷惑をかけることになるのでは」と心配している。 ※家族（要配慮者 E の父親・45 歳）が同行	卵・牛乳アレルギー
要配慮者 F	精神障がい	23 歳 男性	高校在学中に不登校となり、現在は自宅で引きこもりがちな生活を送っている。	発熱あり（37.5℃）

### 3. 要配慮者の生活支援（先行班）

(1) 第〇班による生活支援

①要配慮者A～Fから聞き取り

**第〇班**の隊員が各自、担当の要配慮者A～Fから聞き取りを実施。  
 ※聞き取り項目・記録は、「被災者アセスメント調査票」及び「要配慮者個票」を使用。

**【被災者アセスメント調査票】**

調査票を配布した避難所名：

被災者アセスメント調査票

この調査票は、被災状況を直ちに把握し、適切に関係機関と共有することを目的とした調査票であり、本調査票に記載いただいた情報の共有に当たっては、災害時における支援活動のために使用いたします。

記入者のお名前：	記入日時： 月 日 時 分		
記入者の生年月日：	年齢：	性別：	
自宅住所：	固定電話：		
	携帯電話：		
記入者を含む被災された方の世帯人数：			

1 被災状況

被災により使用できなくなったライフライン	<input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> インターネット通信
家屋(建物)の被害の状況	<input type="checkbox"/> 家屋に極めて大きな被害があった (家が流れてしまった、家が倒壊した、家が土砂によって埋没したなど) <input type="checkbox"/> 家屋に修繕が必要な程度の大きな被害があった(瓦が落ちた、外壁がはがれたなど) <input type="checkbox"/> 家屋に被害があった (被害の概況： ) <input type="checkbox"/> 被害はなかった

2 現在の御自身の状況や、御自身と一緒に避難している御家族の状況

現在の宿泊場所	<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 知人宅 <input type="checkbox"/> 車中泊 <input type="checkbox"/> その他		
避難所の利用	<input type="checkbox"/> 利用している ( <input type="checkbox"/> 応急給水 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 生活物資 <input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 行政やボランティア等から提供される各種の情報 <input type="checkbox"/> 利用していない             )		
医療サポートを利用されているか。	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 在宅酸素 <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> インスリン注射 <input type="checkbox"/> 緊急性のある精神疾患 <input type="checkbox"/> 緊急治療歯科疾患 <input type="checkbox"/> 要緊急処置妊婦 <input type="checkbox"/> 定期的投薬が必要（現在、〔 中断・継続 〕） <input type="checkbox"/> 降圧薬 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 向精神薬 <input type="checkbox"/> その他 [ 医薬品名: ]		
かかりつけの医療機関名			
訪問看護などの医療サービスを利用されているか	<input type="checkbox"/> 有〔利用している事業所名: 〕 <input type="checkbox"/> 無		
妊産婦や乳幼児の方がいるか	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	食物アレルギーを 有しているか	<input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 原因食物 <input type="checkbox"/> 無 )
要介護(支援)認定を受けているか	<input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5 <input type="checkbox"/> 介護区分不明 ) [ 利用している居宅介護支援事業所名: ] <input type="checkbox"/> 無		
障害等手帳をお持ちか	<input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 <input type="checkbox"/> 療育手帳 ) [ 具体的な障害の種類等: <input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 発達障害 ] <input type="checkbox"/> 無		
デイサービス・ヘルパーなどの福祉サービスを利用されているか	<input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 被災前と変わらず利用の見通しが立っている <input type="checkbox"/> 利用の見通しが立たない <input type="checkbox"/> わからない ) [ 利用している事業所名: ] <input type="checkbox"/> 無		
その他			

本調査票に記載した情報を、地方自治体が設置する避難所の管理者、当該地方自治体の災害対策本部及び保健医療福祉調整本部等において共有することに同意します。

年 月 日 氏名

**【要配慮者個票】**



**要配慮者個票**

ふりがな 氏 名	血液型（ 型）
感染症	
対象区分	高齢者 ・ 障がい者 ・ 妊産婦 ・ 乳幼児 ・ その他 ( )
食事形態	普通食 ・ ソフト食 ・ きざみ食 ・ ミキサー食 その他 ( )
家族情報	
既往歴	
現 病	
要配慮事項	<input type="checkbox"/> 見守りのみ <input type="checkbox"/> 一時的に支援 <input type="checkbox"/> 常時支援
ケアの経過	

■第〇班による聞き取り

要配慮者 A（84 歳男性、自力歩行可能・認知症（要介護 3））

<〇〇氏>

- ・私は、岐阜 DWAT の〇〇と申します。
- ・このたびの地震は大変でしたね。左足の具合はいかがですか。

<要配慮者 A>

- ・とにかく家に帰りたい。

<〇〇氏>

- ・足を怪我されて車イスを使われてみえるし、まだ余震が続く可能性もありますので、少し落ち着くまではここで避難生活を送られてはどうでしょうか。
- ・私は、介護など福祉の支援をさせていただくチームです。少しお話を聞かせていただいてもよろしいですか。

<要配慮者 A>

- ・はい。

<〇〇氏>

<<名前、年齢、家族、日常生活等について聞き取りを実施>>

- ・何かお困りのことはありますか。

<要配慮者 A>

- ・3時間ごとに薬を飲んでいますが、忘れることがよくあるので、時間になったら教えてもらえるとありがたいです。前は、11:20 に飲んだので、次の服薬は、14:20 の予定です。

<〇〇氏>

- ・分かりました。服薬の時間になったら、声をかけさせていただきます。
- ・いろいろなお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・今、聞かせていただいた内容を記録として残し、避難生活でも適切な支援が受けられるよう、関係者で共有させていただきたいと思いますが、よろしいですか。
- ・それでは、どのようなお手伝いができるか、協議して、また説明に来ますので、少しお待ちいただいてもよろしいですか。

要配慮者 B（70 歳男性、自力歩行可能（要介護 2））

要配慮者 C（67 歳女性、自力歩行可能（要介護 2））

夫婦

<〇〇氏>

- ・私は、岐阜 DWAT の〇〇と申します。
- ・このたびの地震は大変でしたね。お体の具合はいかがですか。

<要配慮者 B、C>

- ・突然のことで驚きましたが、大丈夫です。

<〇〇氏>

- ・私は、介護など福祉の支援をさせていただくチームです。少しお話を聞かせ

ていただいてよろしいですか。

<要配慮者B、C>

- ・はい。

<〇〇氏>

<<名前、年齢、家族、日常生活等について聞き取りを実施>>

- ・何かお困りのことはありますか。

<要配慮者B>

- ・私は糖尿病で、インスリンを注射する必要があるのですが、忘れないように、教えてもらえると助かります。また、普段は食事制限もありますので、配慮していただくとありがたいです。

<要配慮者C>

- ・私は耳がとおく、普通の会話は聞き取りにくいので、大きな声で話しかけてもらえるとありがたいです。

<〇〇氏>

- ・分かりました。Bさんについては、糖尿病によるインスリン注射のお声掛けと食事の配慮、Cさんについては、大きな声でお話するようにしていきます。
- ・いろいろなお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・今、聞かせていただいた内容を記録として残し、避難生活でも適切な支援が受けられるよう、関係者で共有させていただきたいと思いますが、よろしいですか。
- ・それでは、どのようなお手伝いができるか、協議して、また説明に来ますので、少しお待ちいただいてよろしいですか。

#### 要配慮者D（90歳女性、自力歩行可能（要介護2））

<〇〇氏>

- ・このたびの地震は大変でしたね。体の具合はいかがですか。
- ・私は、岐阜 DWAT の〇〇と申します。

<要配慮者D>

- ・びっくりしましたが、大丈夫です。

<〇〇氏>

- ・私は、介護など福祉の支援をさせていただくチームです。少しお話を聞かせていただいてよろしいですか。

<要配慮者D>

- ・はい。

<〇〇氏>

<<名前、年齢、家族、日常生活等について聞き取りを実施>>

- ・何かお困りのことはありますか。

<要配慮者D>

- ・私は足腰が弱く、歩くときに歩行器を貸してもらえると助かります。

<〇〇氏>

- ・分かりました。歩行器を手配し、お使いいただけるようにします。
- ・いろいろなお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・今、聞かせていただいた内容を記録として残し、避難生活でも適切な支援が受けられるよう、関係者で共有させていただきたいと思いますが、よろしいですか。
- ・それでは、どのようなお手伝いができるか、協議して、また説明に来ますので、少しお待ちいただいてよろしいですか。

**要配慮者 E（12 歳男性、発達障がい） ※父親（45 歳）が同行**

<〇〇氏>

- ・私は、岐阜 DWAT の〇〇と申します。
- ・このたびの地震は大変でしたね。お子さんの具合はいかがですか。

<要配慮者 E の父親>

- ・地震でひどく驚いたのですが、こうして慣れない環境にいることもあり、落ち着かないようです。また大きな余震でも起きるとパニックを起してしまう、周りの方に迷惑をかけてしまうのではないかと考えています。

<〇〇氏>

- ・分かりました。
- ・私は、介護など福祉の支援をさせていただくチームです。少しお話を聞かせていただいてよろしいですか。

<要配慮者 E の父親>

- ・はい。

<〇〇氏>

<<名前、年齢、家族、日常生活等について聞き取りを実施>>

- ・何かお困りのことはありますか。

<要配慮者 E の父親>

- ・息子は卵と牛乳にアレルギーがありますので、食事の際はご配慮いただきたいと思います。

<〇〇氏>

- ・分かりました。卵と牛乳のアレルギーに配慮した食事の準備をしていきます。
- ・いろいろなお話を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・今、聞かせていただいた内容を記録として残し、避難生活でも適切な支援が受けられるよう、関係者で共有させていただきたいと思いますが、よろしいですか。
- ・それでは、どのようなお手伝いができるか、協議して、また説明に来ますので、少しお待ちいただいてよろしいですか。

**要配慮者 F（23 歳男性、精神障がい）**

<〇〇氏>

- ・私は、岐阜 DWAT の〇〇と申します。
- ・このたびの地震は大変でしたね。体調はいかがですか。

<要配慮者 F>

- ・普段と変わりません。

<〇〇氏>

- ・私は、介護など福祉の支援をさせていただくチームです。少しお話を聞かせていただいてもよろしいですか？

<要配慮者 F>

- ・はい。

<〇〇氏>

<<名前、年齢、家族、日常生活等について聞き取りを実施>>

- ・何かお困りのことはありますか。

<要配慮者 F>

- ・ちょっと熱っぽいのですが、体温計を貸してもらえますか。

<〇〇氏>

- ・どうぞ。

<<3分後…37.5℃>>

- ・少し熱がありますね。定期的に体温を測りましょう。体調に異変があれば、声をかけてください。
- ・今、聞かせていただいた内容を記録として残し、避難生活でも適切な支援が受けられるよう、関係者で共有させていただきたいと思いますが、よろしいですか。
- ・それでは、どのようなお手伝いができるか、協議して、また説明に来ますので、少しお待ちいただいてもよろしいですか。

## ②ケア方針の協議

**第〇班**全員で当面のケア方針を協議

■**第〇班**によるケア方針の協議

<リーダー：〇〇氏>

- ・それでは、要配慮者6組の方について、当面の対応策を検討していきます。では、順に聞き取り結果を報告してください。

<〇〇氏>

- ・**要配慮者A**については、認知症があり、要介護3の認定を受けており、普段は、デイサービスを利用しながら在宅生活を送られているとのこと。また、普段は自立歩行が可能とのことですが、この災害で自宅から避難所へ向かう途中、左足を捻挫したとのこと、今は車椅子を使用しています。しきりに家に帰りたと言っておられます。
- ・当面は、目の届く範囲で見守りを行いつつ、1時間おきに本人に接触して状況把握を行い、必要な支援を行っていきたいと考えます。
- ・要配慮事項としては、3時間ごとに服薬されているのですが、薬の飲み忘れがよくあるとのこと、服薬の時間になったら教えてもらいたいとのこと。なお、次の服薬は、14:20の予定とのこと。

<リーダー：〇〇氏>

- ・ありがとうございました。では、**要配慮者A**については、1時間おきの声掛けと、3時間ごとの服薬の声掛けをしていきます。この対応でよろしいですか。

<〇〇氏以外>

- ・はい。

<リーダー：〇〇氏>

- ・続いて、**要配慮者B、C**について、聞き取り結果を報告してください。

<〇〇氏>

- ・**要配慮者B、C**はご夫婦で、お二人とも要介護2の認定を受けておられます。高齢者のみ世帯であり、普段は、ホームヘルパーによる食事や入浴などの介助を受けながら、在宅生活を送られているとのこと。
- ・お二人とも比較的落ち着いてみえますので、当面は、見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けをする対応でよいと考えます。
- ・要配慮事項としては、**要配慮者B**は、糖尿病のため、インスリン注射の声掛けと食事の配慮、**要配慮者C**については、難聴のため、大きな声で話しかけるよう、ご本人から希望がありました。

<リーダー：〇〇氏>

- ・ありがとうございました。**要配慮者B、C**については、2～3時間おきの声掛けと、**要配慮者B**は、糖尿病のため、インスリン注射の声掛けと食事の配慮、**要配慮者C**については、難聴のため、大きな声で話しかけるよう、留意していきます。この対応でよろしいですか。

<〇〇氏以外>

- ・はい。

<リーダー：〇〇氏>

- ・続いて、**要配慮者D**について、聞き取り結果を報告してください。

<〇〇氏>

- ・**要配慮者D**は、要介護2の認定を受けておられ、普段は、デイサービスを利用しながら、在宅生活を送られているとのことでした。
- ・比較的落ち着いてみえますので、当面は、見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けをする対応でよいと考えます。
- ・要配慮事項としては、**要配慮者D**は、足腰が弱っているため、歩行の際は、歩行器を使用してもらえよう手配する必要があると思います。

<リーダー：〇〇氏>

- ・ありがとうございました。**要配慮者D**については、2～3時間おきの声掛けと、歩行器の手配を行います。この対応でよろしいですか。

<〇〇氏以外>

- ・はい。

<リーダー：〇〇氏>

- ・続いて、**要配慮者E**について、聞き取り結果を報告してください。

<〇〇氏>

- ・**要配慮者E**は12歳男性、発達障がいがあり、父親と同時避難してきています。父親によると、地震でひどく驚き、こうした慣れない環境にいることもあり、落ち着かないようで、大きな余震でも起きるとパニックを起してしまい、周りの方に迷惑をかけてしまうのではないかと心配しておられます。
- ・今後、余震が続くようであれば、個室を手配する必要性が出てくる可能性もありますが、当面は、父親が同行されているので見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けをする対応でよいと考えます。
- ・要配慮事項としては、卵と牛乳にアレルギーがあるので、食事の際に留意が必要です。

<リーダー：〇〇氏>

- ・ありがとうございました。**要配慮者E**については、2～3時間おきの声掛けと、卵と牛乳へのアレルギーに留意していきます。この対応でよろしいですか。

<〇〇氏以外>

- ・はい。

<リーダー：〇〇氏>

- ・最後に、**要配慮者F**について、聞き取り結果を報告してください。

<〇〇氏>

- ・**要配慮者F**は23歳男性、高校在学中に不登校となり、自宅で引きこもりがちな生活を送っているとのことでした。
- ・コミュニケーションも取れる状況ですので、当面は、見守りを行うこととし、3～4時間おきに声掛けする対応でよいと考えます。
- ・留意事項としては、現在、37.5℃の熱がありますので、定期的な体温測定が必要です。

<リーダー：〇〇氏>

- ・ありがとうございました。**要配慮者F**については、3～4時間おきの声掛けと、定期的な体温測定を行い、体調に変化がないか、声掛けをしていきます。発熱に関しては、脱水症状になる可能性もあるので、水分補給を心がけるよう声掛けをしてください。この対応でよろしいですか。

<〇〇氏以外>

- ・はい。

<リーダー：〇〇氏>

- ・では、ケア方針の打ち合わせはこれで終わります。
- ・皆さんは、聞き取りを行った要配慮者の元へ行き、今後の対応の説明を行ったあと、ケア等にあたってください。
- ・私は、避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）に協議結果を報告します。

### ③要配慮者へのケア方針の説明

**第〇班**隊員が、決定したケア方針を要配慮者A～Fへ伝達

#### ■**第〇班**から要配慮者への説明

<〇〇氏>

- ・先ほどお話しをお聞きしました、〇〇です。
- ・Aさんについては、1時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。また、服薬のタイミングでお声掛けをさせていただきます。次回の服薬は14:20ですので、その頃、また伺います。

<要配慮者A>

- ・はい。

<〇〇氏>

- ・先ほどお話しをお聞きしました、〇〇です。
- ・Bさん、Cさんについては、2～3時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。
- ・Bさんの糖尿病によるインスリン注射の声掛けと食事制限、Cさんにはなるべく大きな声でお話しをさせていただきます。

<要配慮者B、C>

- ・はい。

<〇〇氏>

- ・先ほどお話しをお聞きしました、〇〇です。
- ・Dさんについては、2～3時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。
- ・歩行器を手配して、お届けしますので、しばらくおまちください。

<要配慮者D>



- ・はい。

<〇〇氏>

- ・先ほどお話しをお聞きしました、〇〇です。
- ・Eさんについては、2～3時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。また、今後、余震が続くようであれば、個室を手配するなどの対応も考えていきたいと考えております。
- ・卵と牛乳のアレルギーについて、配慮した食事をご用意しますので、ご安心ください。

<要配慮者Eの父親>

- ・はい。

<〇〇氏>

- ・先ほどお話しをお聞きしました、〇〇です。
- ・Fさんについては、3～4時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。
- ・若干熱がありますので、定期的に体温測定をしていきたいと思っております。また、脱水症状となる危険性がありますので、水分補給を心がけるようにしてください。体調に変化がありましたら、お声掛けください。

<要配慮者F>

- ・はい。

④福祉避難所責任者である避難所運営チームの責任者へ、ケア方針を報告

■第〇班リーダーは、決定したケア方針について、避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）へ報告

■第〇班リーダーから避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）へ報告

<リーダー：〇〇氏>

- ・**要配慮者A**は、『認知症、要介護3』で、今は左足捻挫のため車椅子を使用されています。当面は、1時間おきに本人に接触し、必要な支援を行っていきます。また、ご本人から、薬の飲み忘れが多いと聞きましたので、服薬のタイミングでお声掛けをしていきます。
- ・**要配慮者B・C**は、ご夫婦で、いずれも『要介護2』です。高齢者のみ世帯であり、普段は、ホームヘルパーによる食事や入浴などの介助を受けながら、在宅生活を送られているとのこと。お二人とも比較的落ち着いてみえますので、当面は、見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けを行います。Bさんは、糖尿病によるインスリン注射と食事制限がありますので、声掛けと食事の配慮をしていきます。Cさんは難聴とのことですので、なるべく大きな声で話をしていきます。
- ・**要配慮者D**は、『要介護2』です。普段は、デイサービスを利用しながら、

在宅生活を送られているとのこと。今は比較的落ち着いてみえますので、当面は、見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けを行います。また、足腰が弱くなっているようですので、歩行器を手配し、使っていただく予定です。

- ・**要配慮者E**は、発達障がいのある12歳男性で、父親と同時避難してきています。父親によると、地震でひどく驚き、こうした慣れない環境にいたることもあり、落ち着かないようで、大きな余震でも起きるとパニックを起してしまい、周りの方に迷惑をかけてしまうのではないかと心配しておられます。

今後、余震が続くようであれば、個室を手配する必要がある可能性もありますが、当面は、父親が同行されているので見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けを行います。

また、卵と牛乳にアレルギーがあるとのことですので、配慮した食事を用意していきます。

- ・**要配慮者F**は、23歳男性で、精神障がいがあります。高校在学中に不登校となり、自宅で引きこもりがちな生活を送っているとのこと。コミュニケーションも取れる状況ですので、当面は、見守りを行うこととし、3～4時間おきに声掛けを行います。

また、現在、37.5℃の発熱がありますので、定期的な体温測定をしていき、脱水症状にならないよう、水分補給を心がけるよう声掛けを行っていきます。

- ・当面、以上の方針で対応していきたいと考えております。

■避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）

- ・了解しました。**要配慮者D**の歩行器は、当施設に使っていないものがありますので、どうぞお使いください。

(2) 報告書等の作成（活動報告書、引継書）

県へ提出する活動報告書、後続の第〇班への引継書を作成

<【岐阜 DWAT 活動記録報告書】の作成>

第〇班リーダーは、毎日、チームの活動記録を作成し、県へ報告する。

◆報告書提出先

所属	報告先
岐阜県 健康福祉部健康福祉政策課	e-mail : c11221@pref.gifu.lg.jp FAX : 058-278-2620

【様式3】

岐阜 DWAT 活動記録報告書

年 月 日

岐阜県知事 様

報告者氏名 (岐阜 DWAT リーダー)			
活動年月日 (報告対象)	年 月 日		
派遣場所			
対象者	高齢者( 名)、障がい者( 名)、妊産婦( 名)、 乳幼児( 名)、その他( 名)		
活動内容			
岐阜 DWAT 隊員	氏名 (リーダー)	職種	健康状態 良 ・ 不良
			良 ・ 不良
			良 ・ 不良
			良 ・ 不良
			良 ・ 不良
特記事項			

< 【岐阜 DWAT 活動に係る引継書】 の作成 >

- ・ **第〇班**リーダーは、**第〇班**へ引継を行うために引継書を作成する。
- ・ 引継書は、**被災者アセスメント調査票**及び**要配慮者個票**を添付し、要配慮者のケアの経過等を併せて引き継ぐ。

【様式4】

岐阜 DWAT 活動に係る引継書

年 月 日

岐阜 DWAT の活動について、別添のとおり引継します。

- 1 作成者  
岐阜 DWAT リーダー
- 2 活動場所
- 3 活動期間  
年 月 日 ~ 年 月 日
- 4 要配慮者情報  
(1) 人数  
(2) 種別
- 5 特記事項

## 4. 後続班の到着及び引継

### （1）福祉避難所責任者である避難所運営チームの責任者へ挨拶

#### 第〇班による避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）への到着報告及び挨拶

##### ■第〇班

- ・私は、岐阜県からの要請で派遣された岐阜 DWAT の第〇班リーダーの〇〇と申します。
- ・チーム編成は、介護福祉士〇名、社会福祉士〇名、精神保健福祉士〇名、幼稚園教諭〇名の計5名です。
- ・第〇班から活動内容を引き継ぎ、活動を行っていきます。よろしくお願ひします。

##### ■避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）

- ・わかりました。よろしくお願ひします。

(2) 第○班から第○班への引継

①引継書（**【岐阜 DWAT 活動に係る引継書】** + **【被災者アセスメント調査票】** +

**【要配慮者個票】**）に基づき、要配慮者A～Fへの支援に関する要配慮事項や、活動にあたっての引継を実施

※チーム全員参加

■第○班から第○班への引継

- ・要配慮者A～Fへの支援の状況及び要配慮事項は、次のとおりです。
- ・**要配慮者A**は、『認知症、要介護3』で、今は左足捻挫のため車椅子を使用しています。1時間おきに本人に接触し、必要な支援を行っています。  
また、要配慮事項として、本人から、3時間おきに服薬しているが、薬の飲み忘れが多いと聞きましたので、服薬のタイミングで声掛けをしています。直近は、14:20に服薬しましたので、今回は、17:20です。
- ・**要配慮者B・C**は、ご夫婦で、いずれも『要介護2』です。高齢者のみ世帯であり、普段は、ホームヘルパーによる食事や入浴などの介助を受けながら、在宅生活を送られているとのこと。お二人とも比較的落ち着いてみえますので、見守りをベースとし、2～3時間おきに声掛けを行っています。  
また、要配慮事項として、Bさんは、糖尿病によるインスリン注射と食事制限がありますので、声掛けと食事の配慮を行っています。Cさんは難聴とのことですので、なるべく大きな声で話をするよう留意してください。
- ・**要配慮者D**は、『要介護2』です。普段は、デイサービスを利用しながら、在宅生活を送られているとのこと。今は比較的落ち着いてみえますので、見守りをベースとし、2～3時間おきに声掛けを行っています。  
また、要配慮事項として、足腰が弱っているため、『喜の里』から歩行器をお借りして使ってもらっています。
- ・**要配慮者E**は、発達障がいのある12歳男性で、父親と同時避難してきています。父親によると、地震でひどく驚き、こうした慣れない環境にいることもあり、落ち着かないようで、大きな余震でも起きるとパニックを起してしまう、周りの方に迷惑をかけてしまうのではないかと心配しておられます。今後、余震が続くようであれば、個室を手配する必要がある可能性もありますが、父親が同行されているので見守りをベースとし、2～3時間おきに声掛けを行っています。  
また、要配慮事項として、卵と牛乳のアレルギーがあるため、食事に配慮が必要です。
- ・**要配慮者F**は、23歳男性で、精神障がいがあります。高校在学中に不登校となり、自宅で引きこもりがちな生活を送っているとのこと。コミュニケー

ションも取れる状況ですので、見守りをベースとし、3～4時間おきに声掛けを行っています。

また、要配慮事項として、37.5℃の熱が続いていますので、定期的な体温測定を行っていくとともに、脱水症状にも気を付ける必要があります。

## ②要配慮者の顔合わせを兼ねた引継

要配慮者 A（84 歳男性、自力歩行可能・認知症（要介護 3））

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。第〇班の活動は本日で終了となり、第〇班が引き続き支援を行っていきます。

Aさんの3時間おきの服薬タイミングのお知らせについては、第〇班に引き継いでいきますので、ご安心ください。

<要配慮者 A>

・はい。

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。よろしくお願いします。

<要配慮者 A>

・はい。よろしくお願いします。

要配慮者 B（70 歳男性、自力歩行可能（要介護 2））

要配慮者 C（67 歳女性、自力歩行可能（要介護 2））

夫婦

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。第〇班の活動は本日で終了となり、第〇班が引き続き支援を行っていきます。

Bさんの糖尿病のインスリン注射のお声掛けと食事制限、Cさんへは大きな声でお話しをさせていただく点については、第〇班に引き継いでいきますので、ご安心ください。

<要配慮者 B、C>

・はい。

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。よろしくお願いします。

<要配慮者 B、C>

・はい。よろしくお願いします。

要配慮者 D（90 歳女性、自力歩行可能（要介護 2））

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。第〇班の活動は本日で終了となり、第〇班が引き続き支援を行っていきます。

Dさんが移動される際に歩行器が必要であることは、第〇班に引き継いで

いきますので、ご安心ください。

<要配慮者D>

・はい。

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。よろしくお願いします。

<要配慮者D> はい。よろしくお願いします。

要配慮者E（12歳男性、発達障がい） ※父親（45歳）が同行

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。第〇班の活動は本日で終了となり、第〇班が引き続き支援を行っていきます。

Eさんの卵アレルギー、牛乳アレルギーについては、第2班に引き継いでいきますので、ご安心ください。

<要配慮者E>

・はい。

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。よろしくお願いします。

<要配慮者E>

・はい。よろしくお願いします。

要配慮者F（23歳男性、精神障がい）

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。第〇班の活動は本日で終了となり、第〇班が引き続き支援を行っていきます。

Fさんに微熱があることについては、第〇班に引き継いでいきますので、ご安心ください。

<要配慮者F>

・はい。

<第〇班リーダー>

・岐阜 DWAT 第〇班の〇〇です。よろしくお願いします。

<要配慮者F>

・はい。よろしくお願いします。



## 5. 要配慮者の生活支援（後続班）

### （1）第〇班の撤収

第〇班への引継が完了後、福祉避難所責任者である避難所運営チームの責任者へ活動終了を報告

#### ■第〇班

<リーダー：〇〇氏>

- ・第〇班への引継が終了しましたので、これで第〇班の活動は終了します。1週間お世話になりました。

<避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）>

- ・ありがとうございました。

### （2）第〇班による要配慮者の生活支援

#### ①ケア方針の協議

第〇班が、第〇班からの引継事項を元に、第〇班としてのケア方針を協議

#### ■第〇班によるケア方針の協議

<第〇班リーダー：〇〇氏>

- ・それでは、要配慮者6組の方について、第〇班からの引継事項を元に、当面の対応策を検討していきます。
- ・要配慮者Aは、『認知症、要介護3』で、今は左足捻挫のため車椅子を使用されています。1時間おきに本人に接触し、必要な支援を行っていきます。要配慮事項として、3時間おきの服薬が必要とのことですので、飲み忘れがないよう、服薬のタイミングに声をかけることに留意してください。次回服薬は、17:20です。
- ・要配慮者B・Cは、ご夫婦で、いずれも『要介護2』です。高齢者のみ世帯であり、普段は、ホームヘルパーによる食事や入浴などの介助を受けながら、在宅生活を送られているとのこと。お二人とも比較的落ち着いてみえますので、見守りをベースとし、2～3時間おきに声掛けを行っていきます。要配慮事項として、要配慮者Bは、糖尿病によるインスリン注射と食事制限が必要であること、要配慮者Cは、難聴のため、声掛けの際は大きな声でゆっくりと話しかけるように留意してください。

- ・ **要配慮者D**は、『要介護2』です。普段は、デイサービスを利用しながら、在宅生活を送られているとのこと。今は比較的落ち着いてみえますので、見守りをベースとし、2～3時間おきに声掛けを行っていきます。要配慮事項としては、足腰が弱いため、歩行の際は歩行器を使用するよう、留意してください。
- ・ **要配慮者E**は、発達障がいのある12歳男性で、父親と同時避難してきています。父親によると、地震でひどく驚き、こうした慣れない環境にいたり、落ち着かないようで、大きな余震でも起きるとパニックを起してしまい、周りの方に迷惑をかけてしまうのではないかと心配しておられるとのこと。今後、余震が続くようであれば、個室を手配する必要性が出てくる可能性もありますが、父親が同行されているので見守りをベースとし、2～3時間おきに声掛けを行っていきます。要配慮事項としては、卵アレルギーと牛乳アレルギーがありますので、食事の際は留意が必要です。
- ・ **要配慮者F**は、23歳男性で、精神障がいがあります。高校在学中に不登校となり、自宅で引きこもりがちな生活を送っているとのこと。コミュニケーションも取れる状況ですので、見守りをベースとし、3～4時間おきに声掛けを行っていきます。要配慮事項としては、現在、37.5℃の発熱があります。これ以上体温が上がるようであれば、感染症防止の観点から、他の要配慮者から隔離する必要もでてきますので、体調の変化に注意していただくとともに、脱水症状に注意してください。場合によっては、医療機関の受診を勧めることもあります。
- ・ 以上が、**第〇班**からの引継事項ですので、当面は、この方針で対応していきたいと思いますが、いかがでしょうか。

< **第〇班**全員 >

- ・ 了解しました。

②要配慮者の担当決め

■ **第〇班**による要配慮者の担当割り振り

< **第〇班**リーダー：〇〇氏 >

- ・ 当面、**第〇班**内の割り振りは、次のとおりとします。
  - 〇〇さん：要配慮者A・D
  - 〇〇さん：要配慮者B・C
  - 〇〇さん：要配慮者E
  - 〇〇さん：要配慮者F
- ・ **第〇班**もこれまでのケア方針を引き継いで対応してく旨、要配慮者へ伝え、各自方針に基づいてケア等にあたってください。
- ・ 私は、避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）に協議結果を報告します。

<第〇班の担当>

第〇班 隊員	要配慮者
〇〇〇〇 ※リーダー	—
〇〇〇〇（介護福祉士）	要配慮者 A・D（高齢者）
〇〇〇〇（社会福祉士）	要配慮者 B・C（高齢者夫婦）
〇〇〇〇（幼稚園教諭）	要配慮者 F（障がい児）
〇〇〇〇（精神保健福祉士）	要配慮者 E（障がい者）

③要配慮者へのケア方針の説明

第〇班で協議し、決定したケア方針について、担当の隊員から要配慮者 A～F へ説明

■第〇班から要配慮者への説明

要配慮者 A（84 歳男性、自力歩行可能・認知症（要介護 3））

<〇〇氏>

- ・〇〇です。A さんには、これまでと同様、私が 1 時間ごとにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃって下さい。
- ・3 時間おきの服薬については、引き続き、お声掛けさせていただきます。次回は 17:20 ですね。

<要配慮者 A>

- ・はい。よろしくお願いします。

要配慮者 B（70 歳男性、自力歩行可能（要介護 2））

要配慮者 C（67 歳女性、自力歩行可能（要介護 2））

夫婦

<〇〇氏>

- ・〇〇です。
- ・B さん、C さんには、これまでと同様、2～3 時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。よろしいでしょうか？
- ・B さんは、糖尿病によるインスリン注射と食事制限、C さんは、なるべく大きな声でお話しをさせていただきます。

<要配慮者 B、C>

- ・はい。

**要配慮者D（90歳女性、自力歩行可能（要介護2））**

<〇〇氏>

- ・〇〇です。
- ・Dさんについては、これまでと同様、2～3時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。
- ・また、歩行器のほか、必要なものがありましたら、お声掛けください。

<要配慮者D>

- ・はい。

**要配慮者E（12歳男性、発達障がい） ※父親（45歳）が同行**

<〇〇氏>

- ・〇〇です。
- ・Eさんについては、これまでと同様、2～3時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。
- ・卵と牛乳のアレルギーについては、引き続き、留意した食事をご用意します。

<要配慮者Eの父親>

- ・はい。よろしくお願ひします。

**要配慮者F（23歳男性、精神障がい）**

<〇〇氏>

- ・〇〇です。
- ・Fさんについては、これまでと同様、3～4時間おきにお話を伺いに来ますので、お困りのことや必要な支援がありましたらおっしゃってください。
- ・定期的に体温測定を行いますので、よろしくお願ひします。

<要配慮者F>

- ・はい。

**④福祉避難所責任者である避難所運営チームの責任者へ、ケア方針を報告**

**第〇班**リーダーは、決定したケア方針について、避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）へ報告

**■第〇班**リーダーから避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）への報告

<リーダー：〇〇氏>

- ・**要配慮者A**は、『認知症、要介護3』で、今は左足捻挫のため車椅子を使用されています。当面は、1時間おきに本人に接触し、必要な支援を行っていきます。また、薬の飲み忘れが多いとのことですので、服薬のタイミングでお声掛けをしていきます。

- ・ **要配慮者B・C**は、ご夫婦で、いずれも『要介護2』です。高齢者のみ世帯であり、普段は、ホームヘルパーによる食事や入浴などの介助を受けながら、在宅生活を送られているとのこと。お二人とも比較的落ち着いてみえますので、当面は、見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けを行います。Bさんは、糖尿病によるインスリン注射と食事制限がありますので、声掛けと食事の配慮をしていきます。Cさんは難聴とのことですので、なるべく大きな声で話をしていきます。
  - ・ **要配慮者D**は、『要介護2』です。普段は、デイサービスを利用しながら、在宅生活を送られているとのこと。今は比較的落ち着いてみえますので、当面は、見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けを行います。足腰が弱くなっているとのことですので、引き続き、歩行器を使用してもらいます。
  - ・ **要配慮者E**は、発達障がいのある12歳男性で、父親と同時避難してきています。父親によると、地震でひどく驚き、こうした慣れない環境にいることもあり、落ち着かないようで、大きな余震でも起きるとパニックを起してしまい、周りの方に迷惑をかけてしまうのではないかと心配しておられます。今後、余震が続くようであれば、個室を手配する必要がある可能性もありますが、当面は、父親が同行されているので見守りを行うこととし、2～3時間おきに声掛けを行います。  
また、卵と牛乳にアレルギーがあるとのことですので、配慮した食事を用意していきます。
  - ・ **要配慮者F**は、23歳男性で、精神障がいがあります。高校在学中に不登校となり、自宅で引きこもりがちな生活を送っているとのこと。コミュニケーションも取れる状況ですので、当面は、見守りを行うこととし、3～4時間おきに声掛けを行います。  
37.5℃の発熱が続いていますので、定期的な体温測定をしていくとともに、脱水症状にならないよう水分補給の声掛けをしていきます。
- ・ 当面、以上の方針で対応していきたいと考えております。

■避難所運営チーム（責任者：〇〇氏）

- ・ 了解しました。